

産業環境委員会情報連絡

令和 7 年 1 0 月 9 日

情報連絡事項	頁
(1) 環境基本計画の策定に係る環境審議会専門部会の実施について . . .	2
(2) 「第 1 8 回あだち環境かるた大会」の実施予定について	4
(3) 環境講座の実施結果及び実施予定について	5

(環 境 部)

産業環境委員会情報連絡

令和7年10月9日

件 名	環境基本計画の策定に係る環境審議会専門部会の実施について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	環境審議会に専門部会を設置し第四次足立区環境基本計画の策定について検討を行ったため、以下のとおり概要を情報連絡する。 1 環境審議会及び専門部会開催日時・出席委員数 (1) 開催日時 令和7年9月1日（月）午後1時30分から午後5時まで (2) 出席委員数 15名の委員のうち14名出席 2 専門部会の構成 環境審議会に専門部会（2テーマ）を設置し、全委員が以下のいずれかの部会に参加することとした。 (1) CO₂削減目標設定・方策検討専門部会 国や東京都が新たに示した2035、2040年度の目標などを踏まえ区の新たな目標値や、目標の実現に向けた方策を検討する。 (2) 意識啓発・行動変容専門部会 現行計画の進捗から浮き彫りになった課題である、環境意識の醸成、広がりや、特に若年層の行動変容を促す仕組みについて検討する。 3 主な意見等 (1) CO₂削減目標設定・方策検討専門部会 【主な意見】 ① これまでの実績を考慮した実現性のある数値とすることも大切だが、国際的な枠組みでの提言等を踏まえた意識の高い目標を設定すべき。 ② 家庭部門での効果が最も高い断熱を取り入れてもらうことが重要なため、周知や支援策を強化すべき。 ③ 山や森林を切り開いて太陽光パネルを設置することに効果はあるのか。 ➡ 森林には吸収したCO₂をストックする効果もあることから、長期的には伐採はマイナスであると言える。埼玉県等では、災害への不安からも、地元の反対によりメガソーラーの設置が認められない状況が発生している。

【確認した方向性】

- ① 新たなCO₂削減目標
2035年度目標2013年度比61%以上削減
2040年度目標2013年度比73%削減
- ② 全体の削減目標と併せ、排出部門ごとの目標を設定し、区が注力する施策との連動をわかりやすく示していく。

(2) 意識啓発・行動変容専門部会

【主な意見】

- ① 多様な価値観があるなかで、経済的なインセンティブを設けることは、環境への関心が低い層の取組みへの呼び水となる有効な手段と言える。
- ② 「経済的にお得」という表現を区民に対して使用するのは適切ではないのではないか。
- ③ 若い世代のリユースへの意識の高さを活用できる施策などを環境フェアの再開により実現させてほしい。
➡ 環境への関心が低い区民への啓発となるよう、区民まつりに環境フェスティバルゾーンを設ける予定。
- ④ ICT の活用による環境教育も重要ではあるが、実際に体験することで環境問題を「自分ごと化」させ、行動変容につなげることができる。

【確認した方向性】

- ① ショート動画のような若い世代特有の情報入手の特徴を捉えた発信を取り入れていく。
- ② 「体験」「楽しみながら」「インセンティブ」をキーワードとして行動変容を促す仕組み、施策の検討を進める。

4 環境審議会専門部会次回開催予定

(1) CO₂削減目標設定・方策検討専門部会

令和7年11月10日（月）午後2時から

(2) 意識啓発・行動変容専門部会

令和7年11月28日（金）午後1時30分から

5 今後の方針

第2回の専門部会では、今回いただいた意見をベースに、課題解決に向けた施策実施の方向性をより明確にしていくとともに、具体的な取り組みとして新たな環境基本計画に反映させていく。

産業環境委員会情報連絡

令和7年10月9日

件名	「第18回あだち環境かるた大会」の実施予定について		
所管部課名	環境部環境政策課		
内 容	「第18回あだち環境かるた大会」の件について、以下のとおり情報連絡する。		
	目 的	環境かるた大会の実施を通じて、児童に楽しみながら環境問題について考えてもらうきっかけとすることを目的とする。	
	実施日時	令和8年1月25日（日）	
		低学年の部（小学1～3年生）	午前9時～12時
	高学年の部（小学4～6年生）	午後1時～4時	
	実施会場	区立島根小学校体育館	
	対 象	区内在住・在学の小学1～6年生	
	定 員	低学年の部、高学年の部いずれも128人 ※ 応募者多数の場合は抽選による	
	令和6年度実績		応募者数
低学年の部		355人	115人
高学年の部		105人	85人
昨年度との変更点	申込窓口を「学校」から「環境政策課（オンライン申請システム／電話）」に変更し、学校の負担軽減を図る。		
周知方法	1 あだち広報10月25日号 2 区ホームページ及びSNS 3 C4th Home&School 4 区立学校長会定例会での案件報告		

産業環境委員会情報連絡

令和7年10月9日

件 名	環境講座の実施結果及び実施予定について															
所管部課名	環境部環境政策課															
内 容	環境講座について、以下のとおり情報連絡する。															
	1 環境講座の実施結果について															
	講座名	気象キャスターに学ぶ！本当に怖い気候変動														
	実施日時	令和7年9月6日（土） 午前10時30分から午前11時45分まで														
	実施会場	ギャラクシティ														
	対 象	区内在住・在学・在勤の方														
	定 員	50人														
	事業実績	<table><tr><td></td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>増減数</td></tr><tr><td>応募者数</td><td>74人</td><td>83人</td><td>+9人</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>58人</td><td>56人</td><td>△2人</td></tr></table>				令和6年度	令和7年度	増減数	応募者数	74人	83人	+9人	参加者数	58人	56人	△2人
		令和6年度	令和7年度	増減数												
	応募者数	74人	83人	+9人												
参加者数	58人	56人	△2人													
主な意見・感想など	ア 人間が二酸化炭素をたくさん出していて、温暖化していることが分かった（小学生）。 イ カーボンニュートラルの大切さを実感した。節電、電車やバスの利用など、できることから取り組んでいきたい（大人）。 ウ 地球温暖化の話は知っていたが、具体的な数字による説明があり、正しく理解できた。知人に今日学んだ話を聞かせたいと思う（大人）。															
当日の様子	 〈講師からの気候変動の解説〉  〈2100年 未来の天気予報〉															

2 環境講座の実施予定について

講座名	気象キャスターに学ぶ！本当に怖い気候変動
目 的	脱炭素社会の実現に向けた意識・行動変容につながる情報を発信する。気象キャスターから気候変動の基礎について学び、私たちにできる対策について考える。
実施日時	令和7年12月6日（土） 午前10時30分から午前11時45分まで
実施会場	生涯学習センター
対 象	区内在住・在学・在勤の方
定 員	50人（応募者多数の場合は抽選）
令和6年度 実 績	参加者数 70人（応募者数 103人）